

各位

千葉県長生郡白子町南日当 2508 番地



## ヨウ素精製設備の大幅増強および稼働開始のお知らせ

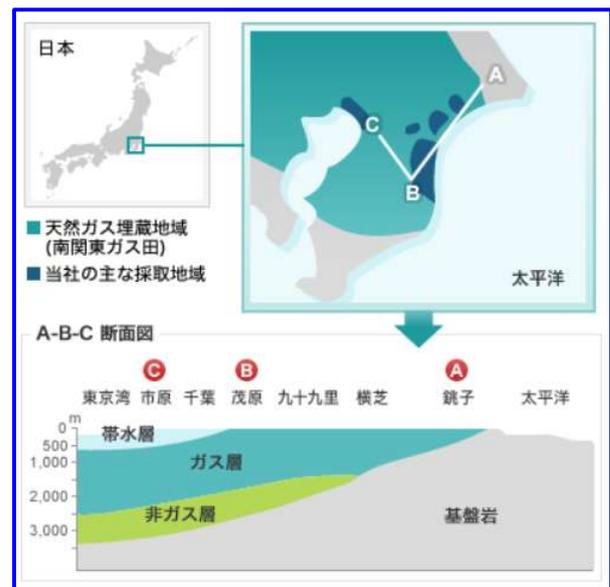
世界的に希少な資源であるヨウ素は、「X線を遮る」「殺菌性が高い」「反応性が高い」「光を制御する」「人体に必須である」等の優れた特性を有し、レントゲン造影剤、殺菌防かび剤、工業用触媒、液晶偏光フィルム、医薬品、飼料添加物、添加塩など、幅広い分野で利用され、近年では日本発の先端技術であるペロブスカイト太陽電池の主要原料としても注目されております。



わが国は、世界のヨウ素産出量の約3割を占める世界第2位のヨウ素生産大国であり、国内のヨウ素産出量の約8割（世界のヨウ素産出量の約1/4）を千葉県が占めております。

<出典：関東天然瓦斯開発㈱ホームページ>

千葉県を中心とする南関東一帯には、国内最大の水溶性天然ガス田である南関東ガス田が広がっており、千葉県産水溶性天然ガスは地層水（かん水）をガス井戸で汲み上げて採取しますが、「太古の海水」である南関東ガス田のかん水には、ヨウ素も高濃度で含まれております。



貴重な国産資源に恵まれた千葉県を拠点として、総合エネルギー事業を営むK&Oエナジーグループでは、関東天然瓦斯開発㈱（本社：茂原市）が天然ガスの開発・生産を、大多喜ガス㈱（本社：茂原市）が都市ガスの供給・販売を、当社（本社：白子町）がヨウ素の製造・販売を、グループ一貫体制で効率的に行っております。

国内有数のヨウ素サプライヤーである当社は、世界的に成長を続けるヨウ素市場への対応を含め、将来のさらなる需要増に応えるべく、このたび千葉工場（白子町南日当）にてヨウ素精製設備の大幅増強を実施し、本日8月1日から稼働を開始いたしました。

当社における現在のヨウ素生産量は、年間で約1,650トン（世界シェア約5%）であり、今回の設備増強を含む増産計画を推進することにより、2030年代には2,000トン以上まで引き上げる予定です。

当社は、日本が誇る天然資源であるヨウ素の生産・販売を通じ、環境との調和、地域社会との共生を図りながら、人々の健康と快適で豊かな社会の実現に貢献してまいります。

＜新設備の外観＞



＜竣工式の様子＞



K&O ヨウ素(株) 取締役製造部長 片岡 弘樹<施主>	K&O ヨウ素(株) 代表取締役社長 高橋 丈夫<施主>	K&Oエナジー グループ(株) 代表取締役社長 緑川 昭夫<来賓>	関東天然 瓦斯開発(株) 代表取締役社長 石渡 直尚<来賓>	三菱マテリアル テクノ(株) 代表取締役社長 松井 征規<施工者>
---------------------------------------	---------------------------------------	--	---	--

＜本件お問合せ先＞

千葉県長生郡白子町南日当 2508 番地 K&Oヨウ素株式会社  
総務部長 馬場 勝久 (TEL : 0475-33-3553/FAX : 0475-33-3951)